

令和3年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	生活福祉課
------	-------

事務事業名	生活困窮者家計改善支援事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政策	② ひとりひとりが輝けるまちづくり	款	3	民生費	
	基本目標	5. 健やかな暮らしづくり	項	1	社会福祉費	
	施策	5-2 地域福祉の充実	目	2	社会福祉費	
	基本方針	5-2-3 自立支援の推進	事業	8	生活困窮者自立支援事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	何らかの理由により、家計が苦しく生活が困窮している人(世帯)に対し、家計の相談・見直しを行うことで、生活の立て直しを目指す。	事業の内容	家計に問題を抱える生活困窮者から相談に応じ、家計再生の計画・個別のプランを作成し、家計管理の意欲を引出す。①家計管理に関する支援 ②滞納の解消や各種給付制度等の利用に向けた支援 ③債務整理に関する支援 ④貸付の斡旋等を行う。
-------	--	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名		単位	実績		目標	目標	
	総対応件数			R2	R3	R4	R5	
指標の説明	プラン作成者数		件	目標	11			
				実績	2			
		R2年度決算	R3年度決算	R4年度予算		市民一人あたりのコスト		
関連事業費	財源内訳	事業費	0	4,200,000	4,200,000		R2	0
		国県支出金		2,800,000	2,800,000		R3	115
		地方債					各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他					R2	37,243
		一般財源		1,400,000	1,400,000		R3	36,670

■評価（CHECK）

事業の方向性	<input type="checkbox"/>	拡 充	<input type="checkbox"/>	縮小して継続	判定理由	家計の課題に対する踏み込んだ相談に応じることで、生活困窮者とともに家計の状況を明らかにして、家計の改善に向けた意欲を引出させる必要がある。そのためにも、生活困窮者自身が自力で家計管理できる生活習慣を獲得させ、基礎的な能力の向上を図る支援を実施することが求められる。
	<input type="checkbox"/>	改善・効率化し継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	生活困窮者の個々の状況に応じた総合的な資金計画にかかる相談に細やかに対応していくための方策について検討していく必要がある一方で、需要が少なかったり、マンパワーや委託事業者の不足などがある。
今後の方向性	複合的な課題を抱える傾向にある生活困窮者に対する支援には、個々の課題等に合わせ、様々な支援を組み合わせる「包括的」な支援を行うことが効果的であり、自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業を一体的に実施することにより、三事業間の相互補完的・連続的な支援を可能にし、包括的支援の強化を図る。